



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月12日

上場会社名 株式会社丸八ホールディングス 上場取引所 名  
 コード番号 3504 URL <http://www.maruhachi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧口 陽夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループ長 (氏名) 工藤 知足 (TEL) 045-471-0808  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績 (平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	7,447	△22.5	595	△39.4	898	△35.4	569	△8.4
30年3月期第2四半期	9,613	△8.7	982	△20.8	1,390	91.6	621	14.8

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 92百万円(△83.9%) 30年3月期第2四半期 573百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	36.74	—
30年3月期第2四半期	40.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	58,807	45,469	77.3
30年3月期	58,762	45,842	78.0

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 45,469百万円 30年3月期 45,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,824	△16.5	1,059	△33.4	1,617	△2.5	1,057	△4.2	68.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成30年11月12日)公表いたしました「第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	16,579,060株	30年3月期	16,579,060株
31年3月期2Q	1,081,540株	30年3月期	1,081,540株
31年3月期2Q	15,497,520株	30年3月期2Q	15,497,520株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内閣府の月例報告によりますと、「景気は、緩やかに回復している。」とされており、先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響、相次いでいる自然災害の経済に与える影響については、引き続き留意していく必要性が求められるところです。

#### (寝具・リビング用品事業)

当第2四半期連結累計期間の状況といたしましては、前年同四半期と比べ減収・減益となりました。その主な要因は、G L BOWRON & CO LIMITEDを平成29年8月23日に株式譲渡したことによるものです。また、主力のダイレクトセールス部門におきましては、販売員増員の課題をかかえる中、前年同四半期末と比較して総人員数ではほぼ横這いとなっており、臨時社員数は増加したものの正社員の確保に苦戦し、臨時社員の構成比率が高まった結果、販売員一人当たりの売上高が低下し減収となりました。販売の内訳としては、製品（ふとん類）の販売は伸び悩み、大手住宅関連メーカーと提携した窓枠等の住宅関連商品は安定的に推移いたしました。ダイレクトセールス以外の国内卸売、レンタル、ホテル・旅館向け販売においては、概ね計画どおりの業績で推移いたしました。

#### (不動産賃貸事業)

当第2四半期連結累計期間の状況といたしましては、前年同四半期と比べ増収・増益となりました。主要物件である西新宿パークウェストビル・丸八青山ビル・丸八新横浜ビルが都心部の良好な不動産市況を背景に堅調に推移したことに加え、前期下期に完成した筑後マンションの賃貸開始もあり、増収につながりました。経費面でも、設備関係費が前年同四半期を下回った結果、増益となりました。

以上の結果、売上高は7,447,502千円と前年同四半期と比べ2,165,734千円（22.5%）の減収となりました。営業利益は595,034千円と前年同四半期と比べ387,468千円（39.4%）の減益となりました。経常利益は898,654千円と前年同四半期と比べ491,890千円（35.4%）の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は569,445千円と前年同四半期と比べ52,344千円（8.4%）の減益となりました。

セグメント毎の状況は以下のとおりであります。

#### ① 寝具・リビング用品事業

当セグメントにおきましては、売上高は6,972,412千円と前年同四半期と比べ2,179,910千円（23.8%）の減収、セグメント利益（営業利益）は627,297千円と前年同四半期と比べ582,253千円（48.1%）の減益となりました。

#### ② 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は475,090千円と前年同四半期と比べ14,176千円（3.1%）の増収、セグメント利益（営業利益）は272,596千円と前年同四半期と比べ182,508千円（202.6%）の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して45,170千円増加し、58,807,538千円となりました。これは主に、期末配当や納税等の影響で現金及び預金が778,496千円減少した一方で、秋冬シーズンの量販・通販向けを中心とした仕入・生産・販売活動によりたな卸資産が654,299千円増加、受取手形及び売掛金が212,887千円増加したことによるものであります。

#### (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して417,871千円増加し、13,337,630千円となりました。これは主に、上述の仕入・生産活動により支払手形及び買掛金が436,616千円増加したことによるものであります。

#### (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して372,701千円減少し、45,469,907千円となりました。これは主に、期末配当を上回る親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が104,520千円増加した一方で、海外子会社の換算レートの変動により為替換算調整勘定が472,750千円減少したことによるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は、前連結会計年度末に比べ1,114,557千円減少し、13,973,802千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローと要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は158,546千円（前第2四半期連結累計期間は518,160千円の獲得）となりました。

この主な要因は、税金等調整前四半期純利益883,535千円、減価償却費204,582千円、仕入債務の増加438,711千円などがあった一方で、たな卸資産の増加654,690千円、売上債権の増加214,396千円、法人税等の支払額343,786千円などがあったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は810,613千円（前第2四半期連結累計期間は274,593千円の獲得）となりました。

この主な要因は、収入については投資有価証券の売却及び償還による収入654,460千円があった一方、支出については、定期預金の純増額760,776千円のほか、投資有価証券の取得による支出553,279千円、有形固定資産の取得による支出361,093千円などがあったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は465,338千円（前第2四半期連結累計期間は465,338千円の使用）となりました。

この主な要因は、配当金の支払額464,925千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月14日付の平成30年3月期決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表の「第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,103,974	27,325,478
受取手形及び売掛金	7,720,467	7,933,354
有価証券	894,436	237,282
たな卸資産	2,220,010	2,874,309
その他	371,292	529,244
貸倒引当金	△64,360	△82,443
流動資産合計	39,245,821	38,817,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,075,098	18,869,723
減価償却累計額	△14,426,491	△14,363,656
建物及び構築物（純額）	4,648,606	4,506,067
機械装置及び運搬具	3,402,333	3,021,811
減価償却累計額	△3,183,629	△2,819,033
機械装置及び運搬具（純額）	218,703	202,777
工具、器具及び備品	782,117	739,298
減価償却累計額	△564,564	△521,591
工具、器具及び備品（純額）	217,552	217,707
土地	13,237,065	13,133,295
建設仮勘定	130,309	355,712
有形固定資産合計	18,452,237	18,415,559
無形固定資産	34,782	30,994
投資その他の資産		
投資有価証券	504,284	1,054,387
繰延税金資産	214,577	214,634
その他	349,840	305,558
貸倒引当金	△39,176	△30,821
投資その他の資産合計	1,029,526	1,543,758
固定資産合計	19,516,546	19,990,311
資産合計	58,762,368	58,807,538

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	464,290	900,906
1年内返済予定の長期借入金	1,500,000	1,500,000
未払金	751,420	702,592
未払法人税等	264,426	250,698
賞与引当金	231,711	236,794
返品調整引当金	82,052	75,812
割賦利益繰延	1,461,171	1,473,314
その他	910,429	948,802
流動負債合計	5,665,502	6,088,921
固定負債		
長期借入金	5,500,000	5,500,000
役員退職慰労引当金	23,982	23,982
退職給付に係る負債	413,109	422,389
長期預り保証金	1,089,688	1,082,825
繰延税金負債	58,786	51,235
その他	168,690	168,277
固定負債合計	7,254,256	7,248,709
負債合計	12,919,758	13,337,630
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,427,998	1,427,998
利益剰余金	46,929,830	47,034,351
自己株式	△2,216,142	△2,216,142
株主資本合計	46,241,687	46,346,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,490	56,798
繰延ヘッジ損益	△933	287
為替換算調整勘定	△460,635	△933,385
その他の包括利益累計額合計	△399,078	△876,300
非支配株主持分	0	0
純資産合計	45,842,609	45,469,907
負債純資産合計	58,762,368	58,807,538

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	9,613,236	7,447,502
売上原価	3,602,341	2,377,803
売上総利益	6,010,895	5,069,698
販売費及び一般管理費	5,028,392	4,474,664
営業利益	982,502	595,034
営業外収益		
受取利息	154,198	168,498
受取配当金	5,712	6,159
受取手数料	53,660	53,999
為替差益	174,338	54,260
その他	32,976	28,372
営業外収益合計	420,887	311,290
営業外費用		
支払利息	11,753	7,509
その他	1,090	160
営業外費用合計	12,844	7,670
経常利益	1,390,545	898,654
特別利益		
有形固定資産売却益	1,374	58,448
ゴルフ会員権売却益	—	5,666
特別利益合計	1,374	64,115
特別損失		
子会社株式売却損	154,740	—
減損損失	—	68,280
有形固定資産除却損	18,111	4,312
ゴルフ会員権売却損	—	3,342
ゴルフ会員権評価損	—	3,300
特別損失合計	172,852	79,235
税金等調整前四半期純利益	1,219,067	883,535
法人税等	597,277	314,089
四半期純利益	621,790	569,446
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	621,790	569,445



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	621,790	569,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,983	△5,691
繰延ヘッジ損益	△837	1,220
為替換算調整勘定	△69,773	△472,750
その他の包括利益合計	△48,626	△477,221
四半期包括利益	573,163	92,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	573,163	92,224
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,219,067	883,535
減価償却費	236,439	204,582
減損損失	—	68,280
有形固定資産除却損	18,111	4,312
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,374	△58,448
子会社株式売却損益(△は益)	154,740	—
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	—	△2,323
ゴルフ会員権評価損	—	3,300
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,186	10,233
賞与引当金の増減額(△は減少)	26,331	5,083
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,880	9,296
割賦利益繰延の増減額(△は減少)	40,752	12,143
受取利息及び受取配当金	△159,911	△174,657
支払利息	11,753	7,509
為替差損益(△は益)	△173,984	△46,252
売上債権の増減額(△は増加)	168,079	△214,396
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,045,565	△654,690
仕入債務の増減額(△は減少)	232,679	438,711
未払消費税等の増減額(△は減少)	△43,996	△63,828
その他	68,305	△86,051
小計	754,734	346,336
利息及び配当金の受取額	109,778	163,505
利息の支払額	△11,753	△7,509
法人税等の支払額	△334,599	△343,786
営業活動によるキャッシュ・フロー	518,160	158,546

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△1,454,805	△760,776
有形固定資産の取得による支出	△273,371	△361,093
有形固定資産の売却による収入	1,493	174,832
無形固定資産の取得による支出	△1,767	—
無形固定資産の売却による収入	—	22
投資有価証券の取得による支出	—	△553,279
投資有価証券の売却及び償還による収入	595,515	654,460
子会社株式の売却による収入	1,440,492	—
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△4,132	2,654
長期貸付金の回収による収入	3,396	3,757
その他	△32,226	28,808
投資活動によるキャッシュ・フロー	274,593	△810,613
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△464,925	△464,925
その他	△412	△412
財務活動によるキャッシュ・フロー	△465,338	△465,338
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,404	2,849
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	330,819	△1,114,557
現金及び現金同等物の期首残高	14,159,093	15,088,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,489,913	13,973,802

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	寝具・リビング 用品事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,152,322	460,913	9,613,236	—	9,613,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	127,355	127,355	△127,355	—
計	9,152,322	588,268	9,740,591	△127,355	9,613,236
セグメント利益	1,209,550	90,087	1,299,638	△317,135	982,502

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△127,355千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△317,135千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	寝具・リビング 用品事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,972,412	475,090	7,447,502	—	7,447,502
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	122,711	122,711	△122,711	—
計	6,972,412	597,801	7,570,213	△122,711	7,447,502
セグメント利益	627,297	272,596	899,893	△304,859	595,034

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△122,711千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△304,859千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

不動産賃貸事業において、一部の固定資産が遊休状態となったことに伴い、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し68,280千円を減損損失(特別損失)に計上しております。